

No.1 「仲良く学ぶ」①

おはようございます。校長先生の声、届いてますか？

始業式のときに、わからない、教えてが言えるようにとお話しをしたところ、さっそく「わからへん！」という声は授業中にたくさん聞こえるようになってきました。この調子で、ぜひ周りのお友だちに「教えて」が言えるようにがんばっていきましょう。

それでは、今日は「仲良く学ぶ」というお話しをします。さっきもお話ししましたが、教えてが言えるようになるためには、周りの子と仲良くなっていたほうがいいですね。

でも、この仲良くするというのは、案外難しく、クラスの中でも、誰とでも仲良くできるよという人は少ないのではないのでしょうか。そこで、今日から何回か、校長先生の家やネコをみながら、いっしょに仲良く学ぶことについて考えたいと思います。

もともと校長先生の家にはチェリーという犬がいました。今から14年前に家の近くのペットシ



ョップで売られていたものです。ポメラニアンとチワワのミックスで、見た目は小さくてかわいいのですが、とても気が強くで、お散歩中に「あ、かわい

い犬がいる！」と子どもなどがなでようとするとうなり声をあげて威嚇します。そう、チェリーはとても気が強い、絶対家族以外には絶対なつかないタイプの犬なんです。

そのチェリーが5歳ときの冬に、先生の娘が家

の前の溝で死にかけていたネコをひろってきました。それが、このニャンマルです。全身どろだらけで、とてもやせていて、くさくてブルブルふるえていました。お風呂に入れてあげると、においとれて、きれいなサビネコというのがわかりました。そして、なんと娘がニャンマルと名付けて家で飼いたいと言い出しました。

でも、先生の家にはすでに犬のチェリーがいます。犬とネコ、同じ家でいっしょに暮らせるのでしょうか。



犬やネコを飼っている人なら知っていると思いますが、この2つの動物は基本的には仲がよくありません。チェリーもお散歩中にネコを

みかけると「ふーっ」と歯をむき出しにして、ネコをおっかけようとします。ネコもネコで逃げるネコもいれば、逆にフーッと背中を丸めて威嚇のポーズをとって攻撃態勢に入るネコもいます。

そのため、校長先生は、犬にとっても、ネコにとってもすごいストレスになるからやめようと反対しました。

しかし、娘が泣きながら絶対に飼いたいと言い張るので、しょうがなく、じゃあ、今ニャンマルは弱っているから、元気になるまでのあいだだけだよという約束で飼うことにしました。

さて、このあと校長先生の家やチェリーとニャンマルはどうなったのでしょうか？少し周りのひとと聞き合ってみてください。

ニャンマルを部屋の片隅のおいた小さなダンボールの箱に入れると、弱ってたのかすぐに丸くなって寝ました。

そしてチェリーは、はじめて近くでみるネコに最初はとてもびびっていました。いつもなら、わーっとかげよって、ふーっと歯をむき出して怒るのですが、なんとチェリーは寝ているニャンマルを絶対に攻撃しませんでした。それどころか、ニャンマルのにおいをにおったり、鼻をこすりあわせて、仲良くなろうとしていました。

どうして、仲良くなろうと思ったのか全くわかりませんが、チェリーとニャンマルはとても仲良しになりました。

そんな仲が いいのに、ニャンマルだけを捨てるわけにはいきません。仲がよくなったおかげで、ニャンマルも先生の家族の一員になりました。

しかし、このあとニャンマルに大変なことが起こりました。

今日の話はここまでです。最後まで先生の話静静地に聞いてくれて本当にありがとうございます。またよかったら、今日のお話の感想を校長室前のボードにつぶやいてみてください。これで校長先生の話が終わります。